

令和4年10月19日

各 位

因島技術センター運営協議会
会長 林 清 春



令和4年度因島技術センター溶接中級専門技能研修の研修生募集について（通知）

紅葉の候、貴社益々御清栄のことと御喜び申し上げます。
平素より、当運営協議会の事業推進にあたり、格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、昨年度に引き続き、溶接中級専門技能研修を次のとおり、実施しますのでご案内します。

- 1 研修期間 令和4年11月30日（水）～ 令和4年12月9日（金）＊8日間
- 2 研修場所 因島技術センター（日立造船株式会社因島工場、内海造船株式会社因島工場内）
〒722-2393 広島県尾道市因島土生町 2418-2
- 3 募集人数 10名～15名程度
- 4 研修対象 アーク溶接等の業務にかかる特別教育を受講していること。
①手溶接（被覆アーク溶接）コース
②半自動溶接（炭酸ガスアーク溶接）コース
③TIG溶接コース
- 5 受講費用 因島技術センター運営協議会会員 70,000円/1人（消費税込み）
その他全国募集企業 105,000円/1人（消費税込み）
なお、別途、一般財団法人日本海事協会の溶接士技量試験料が必要になります。
- 6 申込方法 別紙、「申込書」及び「研修生委託申請書」に必要事項を御記入の上、事務局まで返送ください。
- 7 その他（中小企業主の方へ）
人材開発支援助成金（旧キャリア形成促進助成金）等の申請につきましては、最寄りの都道府県労働局（厚生労働省）に直接お問い合わせ下さい。
（新型コロナウイルス対策について）
 - ・研修開始までの1週間程度及び研修期間中体温測定等をしていただく予定です。
 - ・新型コロナワクチン接種の有無について確認させていただきます。（※任意）

連絡先

〒722-2392 広島県尾道市因島土生町 7-4
尾道市因島総合支所しまおこし課内
因島技術センター運営協議会事務局
担当：浅枝
TEL 0845-26-6212 FAX 0845-22-2203

令和4年度因島技術センター溶接中級専門技能研修 実施概要

- 1 研修内容
本研修は、溶接技能のワンランクアップと職種多能化を目的として実施します。
研修は座学と実技で構成し、座学講義では映像教材とテキストを用いて溶接・切断に関する知識を習得するほか、実技実習では研修生の希望する①被覆アーク溶接コース②炭酸ガスアーク溶接コース③T I G溶接コースに分かれて映像教材で溶接テクニックを学習し、全姿勢での隅肉溶接方法、突合せ溶接方法及び手直し方法などの習得を目指します。
また、一般財団法人日本海事協会の溶接士技量資格を受験し、溶接技能の向上を目指すこととしています。
- 2 研修期間 令和4年11月30日(水)～令和4年12月9日(金) *8日間
- 3 研修場所 因島技術センター(日立造船株式会社因島工場、内海造船株式会社因島工場内)
〒722-2393 広島県尾道市因島土生町2418-2番地
- 4 募集人数 10名～15名程度
- 5 研修対象 アーク溶接等の業務にかかる特別教育を受講していること。
①手溶接(被覆アーク溶接)コース
②半自動溶接(炭酸ガスアーク溶接)コース
③T I G溶接コース
- 6 受講費用 因島技術センター運営協議会会員 70,000円/1人(消費税込み)
その他の全国募集企業 105,000円/1人(消費税込み)
* 別途、一般財団法人日本海事協会の溶接士技量試験料が必要となります。
- 7 申込期限 令和4年11月11日(金) *期限厳守
- 8 宿 泊 宿泊につきましては、各自での手配をお願いします。

因島技術センター受託研修生受入規定

制定 平成15年4月1日

(趣旨)

第1条 この規定は、因島技術センター（以下「本校」という。）における受託研修生の受入れについて必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規定に置いて「受託研修生」とは、企業等の研修委託の申請に基づき、本稿で研修生として受入れを許可された者をいう。

(申請)

第3条 企業等の長は、新規採用者、中途採用者等の研修を本校に委託しようとするときは、研修委託申請書（様式第1号）により、因島技術センター長（以下「センター長」という。）に願い出なければならない。

(許可)

第4条 センター長は、前条の願い出があったときは、本校の運営に支障がないと認められたもの限り、受託研修生として受入れを許可することができる。

(遵守義務)

第5条 受託研修生は、本校の諸規則を遵守し、センター長の指示に基づいて研修しなければならない。

(許可の取消等)

第6条 センター長は、受託研修生が前条の規定に違反し、又は受託研修生としてふさわしくない行為があった場合は、当該受託研修生の研修を停止させ、又は研修の許可を取り消すことができる。

(補則)

第7条 この規定に定めるもののほか、受託研修生に関して必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

この規定は、平成15年4月1日から施行する。

様式第1号

年 月 日

因島技術センター長 様

住 所

企業名

代表者

㊞

研 修 生 委 託 申 請 書

この度、貴校において当社職員を研修させたく、別紙、研修生名簿を添えて申請いたしますので、許可くださるようお願い致します。

なお、許可のうえは、下記の事項を遵守致します。

記

1. 研修に際しては、貴校の諸規定を遵守させるとともに、貴校の責任者の指示に従わせます。
2. 万一研修生の故意又は過失による事故等により、貴校に損害を及ぼした場合又は研修生が被災した場合は、当方が一切の責任を負います。

以上

令和4年度因島技術センター溶接中級専門技能研修カリキュラム

日 程	1時間目 (8:00~9:00)	2時間目 (9:00~10:00)	3時間目 (10:00~11:00)	4時間目 (11:00~12:00)	休憩 (12:00~13:00)	5時間 (13:00~14:00)	6時間目 (14:00~15:00)	7時間目 (15:00~16:00)	8時間目 (16:00~17:00)	
第1日 (11/30) 水	集合・受付		入校式 10:00~	指導員紹介・研修説明 安全教育	休 憩	座学① (溶接法の種類と 特長)	座学② (溶接電源の 出力特性)	座学③ (各溶接法の特徴)	座学④ (開先形状の種類/ 溶接欠陥の種類)	
第2日 (12/1) 木	座学⑤ (炭素鋼の特徴)	座学⑥ (ステンレス鋼/ アルミ合金の 特徴)	座学⑦ (品質管理)	C02すみ肉溶接実技説明 水平すみ肉溶接		立向上進すみ肉溶接	立向下進すみ肉溶接	上向すみ肉溶接	C02突き合わせ溶接 実技説明	
第3日 (12/2) 金	座学⑧ (溶接部の品質/ 精度と補修基準)	座学⑩ (溶接用 語)	座学⑪ (溶接施工管理)	TIG溶接機取扱説明、TIG溶接 実技説明		TIG溶接 ビード置き	TIG溶接下向き・立て向き		TIG溶接突き合わせ 実技説明	
第4日 (12/5) 月	学科テスト/回答		C02NK技量試験研修 TIG・NK技量試験研修			C02NK技量試験研修 TIG・NK技量試験研修				
第5日 (12/6) 火	手溶接、半自動溶接NK溶接士技量試験研修			C02NK溶接士技量試験研修 TIG・NK溶接士技量試験研修		手溶接、半自動溶接NK溶接士技量試験研修 TIG・NK溶接士技量試験研修				
第6日 (12/7) 水	手溶接、半自動溶接NK溶接士技量試験研修			TIG・NK溶接士技量試験研修		手溶接、半自動溶接NK溶接士技量試験研修 TIG・NK溶接士技量試験研修				
第7日 (12/8) 木	手溶接、半自動溶接NK溶接士技量試験研修	NK溶接士技量試験受検		厚板応用研修		厚板応用研修				
	TIG・NK技量試験研修		TIGパイプ溶接			TIGパイプ溶接				
第8日 (12/9) 金	C02各姿勢溶接手直し要領(ガウジング+溶接を含む)			片付け、清掃		総合評価/講評/日誌		修了式 15:00~		
	TIG各姿勢溶接手直し要領(ガウジング+溶接含む)									

研修生準備品

1 安全保護具

- ① 作業服（溶接火花が散るので綿製が望ましい）
- ② 安全帽（会社名・氏名を明記のこと）
- ③ 安全靴
- ④ 足カバー（安全靴が編み上げの場合は不要）
- ⑤ 溶接用皮手袋（ガス切断用及び溶接用）※T I G溶接は5本指のもの
- ⑥ 腕抜き（溶接火花が散るので、ある方が望ましい）
- ⑦ 保護メガネ（視力矯正メガネ着用の方は、各社規定の保護メガネを持参のこと）
* 色付きのもの。近視で眼鏡を使用の方は眼鏡前掛けが必要です。
- ⑧ グラインダー用保護メガネ
- ⑨ 防塵マスク（交換フィルター含む）
- ⑩ 耳栓

2 筆記用具

- ① シャープペンシル（HB以上の濃さ）
- ② ノート1冊
- ③ 消しゴム

3 NK溶接士資格証明書（既にお持ちの方のみ。コピー可）

4 その他

タオル、マスク（感染症対策のため実技実習以外は着用のこと）